

梅と桜

梅が咲きもうすぐ桜の季節が来ます。梅と桜の花の違いは分かるのですが、桃の花も少し遅れて咲きますが、その違いが分かり難いです。

前から気になっていたのですが、これらの花（樹木）は分類的には「バラ科」だということは分かっていたのですが、どう違うの疑問でした。



梅



桜

そこで調べてみました。

その前に「バラ」の名前についての由来は、バラとは、バラ科バラ属の総称。「茨・荊・棘（イバラ）」の「い」が抜けた語で、バラやカラタチなどトゲのある低木を「イバラ」と言うが、古くは「バラ」も同様の意味で使われていた。やがて、バラ属の植物を「バラ」、トゲのある低木の総称には「イバラ」という。そして漢字の「薔薇」は、中国語の借用で古くは、音読みで「そうび」や「しょうび」と読まれることが多く、古今和歌集では「そうび」と詠われている、のだそうです。

（語源由来辞典より）

それでこのバラ科の種類の特徴は、花弁・がくは5枚、雄蕊は10本ないし多数あり、雌蕊は1本のものから多数分立するものまで多様。葉は単葉または複葉で根元に托葉があるものをいう。

そして分類は、3亜科に分けられ、さらに多くの連・属などに分けられています。

- ・バラ亜科 /バラ属 *Rosa* - バラ、ハマナス
- ・チョウノスケソウ亜科
- ・モモ亜科 /モモ連 *Amygdaleae* - 子房上位の核果で種子を1個含む。サクラ属（スモモ属）*Prunus* - アーモンド、アンズ、ウメ、サクラ、スモモ、モモ、キクモモ、サクランボ
- /ナシ連 *Pyraeae*（リンゴ連 *Maleae*） - 子房下位で、リンゴやナシの食用部分は花托であり、芯が果実に当たる。

バラ科は90属 2500種あるといいいます。

（以上ウィキペディアより）

バラ科の特徴

- ①花びらが5枚
- ②花弁は1ずつ分かれている
- ③雄しべが真ん中にたくさんある

梅・桃・桜の見分け方

梅：花びらが丸い、一節に1つの花、枝から直接咲く

桃：花びらが尖っている、一節に2つの花、短い軸がある

桜：花びらがハート型、たくさんの花、軸が長い



(以上 tenki.jp より)

コラム 梅と桜を掛け合わせた花が出来たそうです。名前は「エレガンス・ミュキ」といい、花は濃いピンクで2センチくらいの大きさだそうです。一見すると紅梅に見えるようですが、分類は「桜」だそうです。

開花時期が驚くことに11月くらいから3月位の間には咲く続けるそうです。春を待つ花として面白いと思いますが、季節感が変になりそうです。この木は開発されたばかりで、東京都薬用植物園と横浜イングリッシュガーデンで見ることができるとの事です。



(コラム文と写真は梅にも桜にも似てる!? 梅と桜を掛け合わせた花って知ってる? より)

なお、バラ科や他の科でも木も草も含んでいますが、系統的にもそれほど本質的な区別ではありません。と書かれていました。